

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

富山県 中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	22	対象	透I未訓ガ	救臨が感災地輪
人口(人)	建物面積(m <sup>2</sup> )	不採算地区病院	看護配置	
1,069,512	66,174	非該当	7:1	

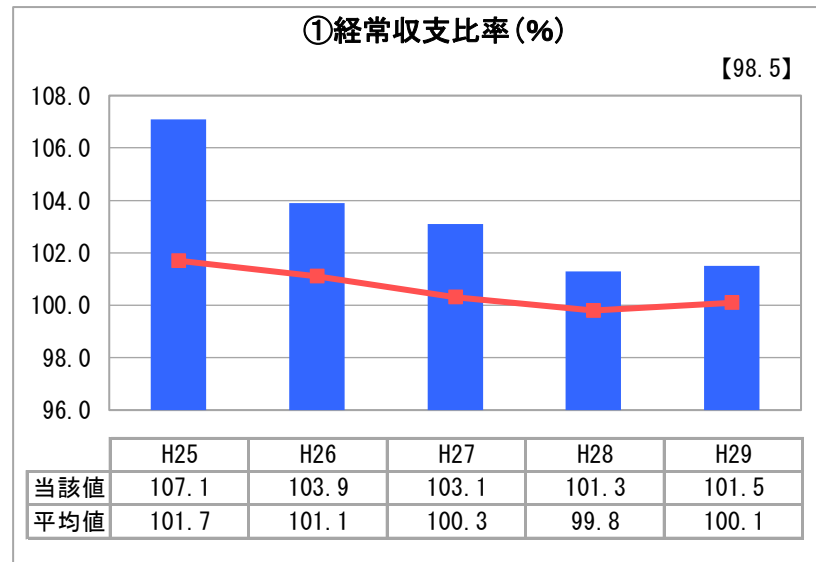
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

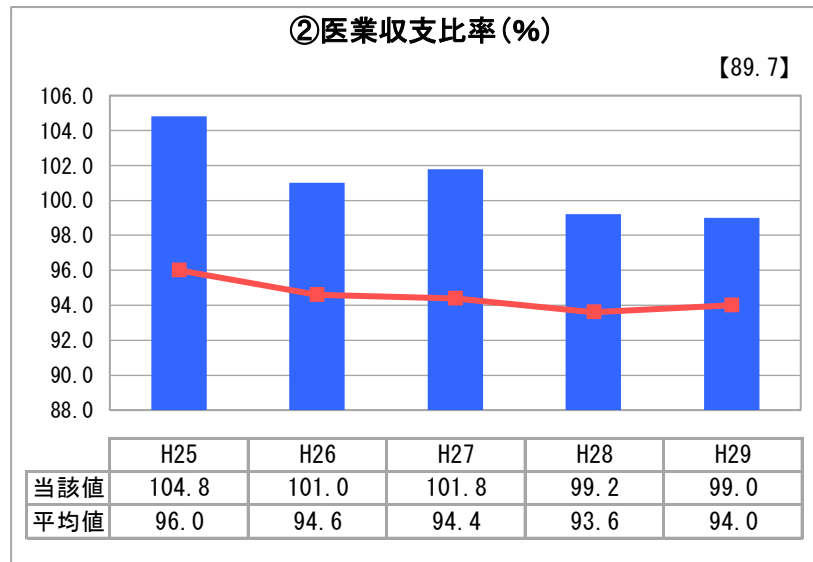
許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
665	-	16
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
50	2	733
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
665	-	665

グラフ凡例	
■	当該病院値(当該値)
—	類似病院平均値(平均値)
【】	平成29年度全国平均

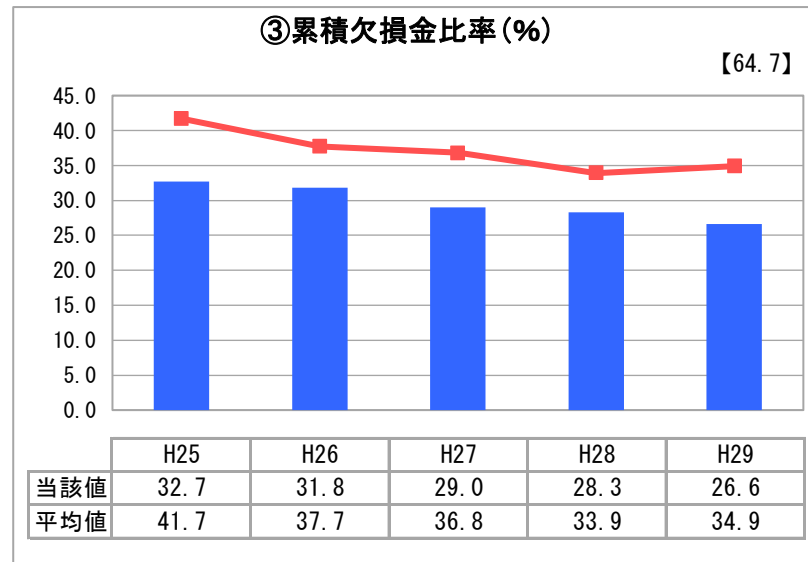
## 1. 経営の健全性・効率性



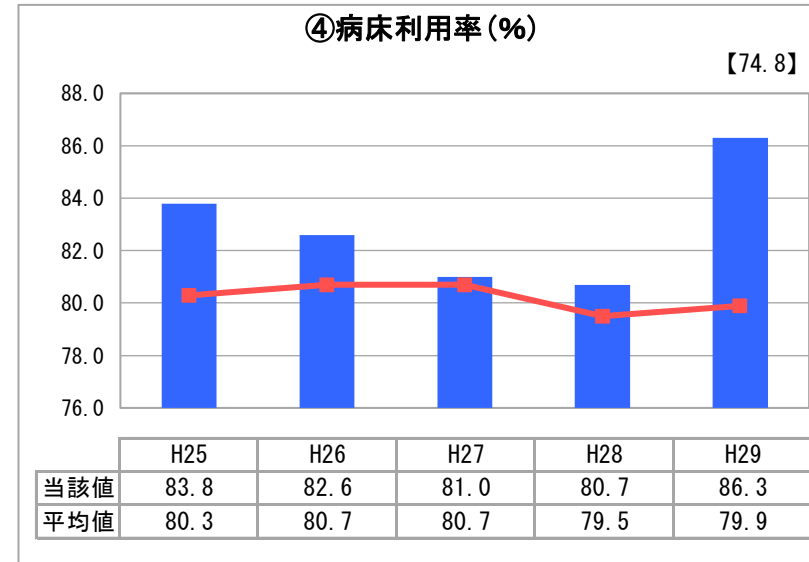
「経常損益」



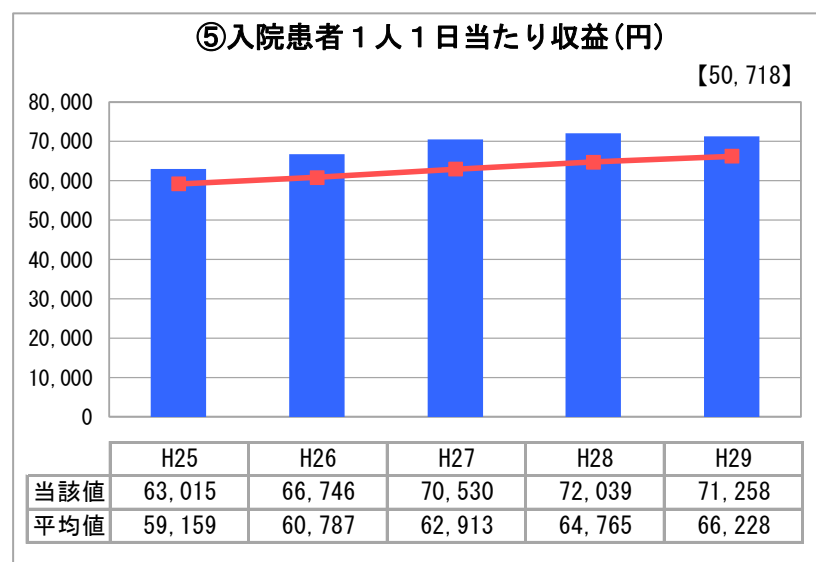
「医業損益」



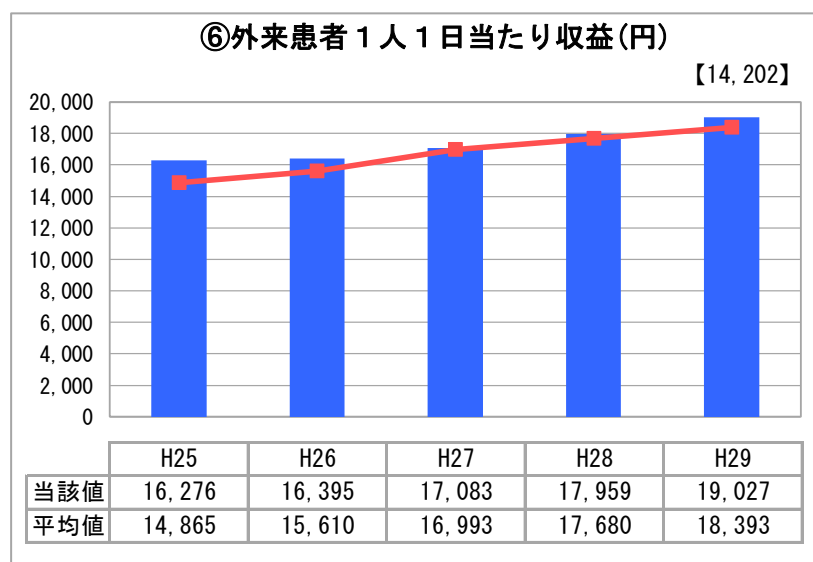
「累積欠損」



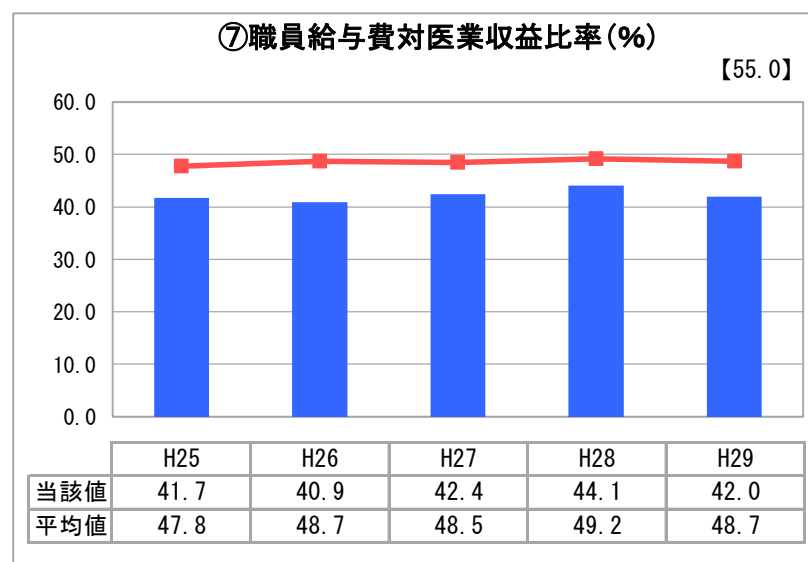
「施設の効率性」



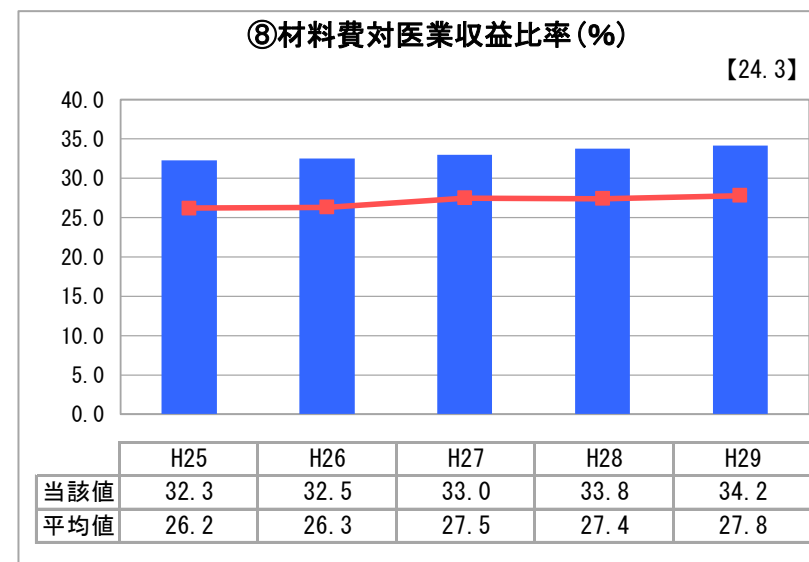
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

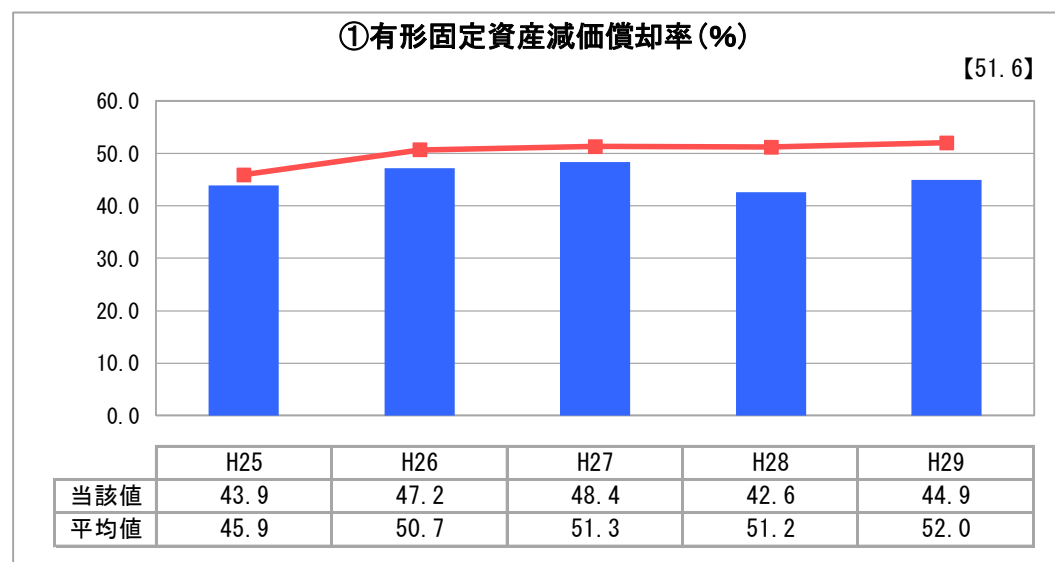


「費用の効率性①」

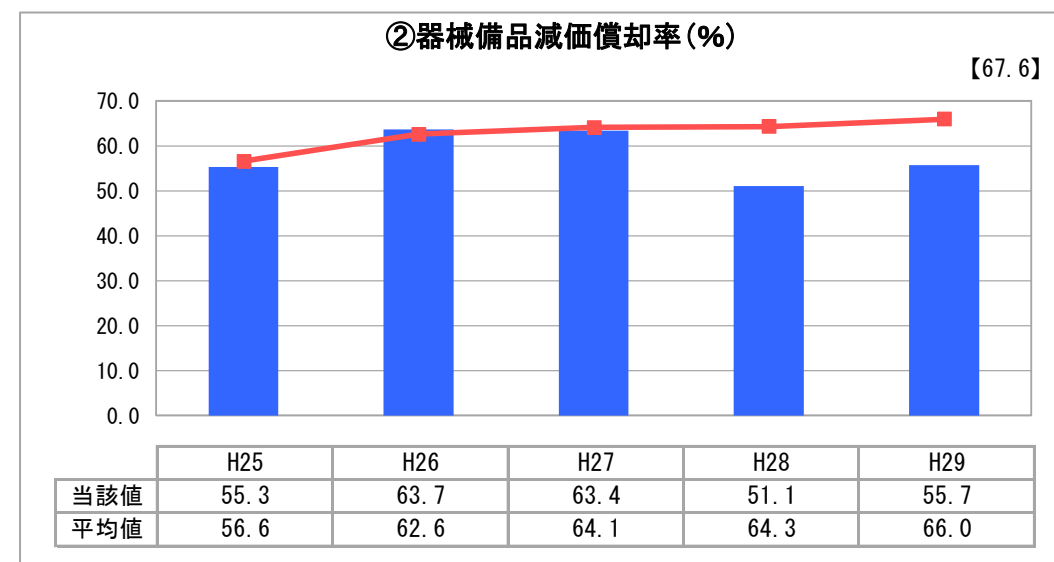


「費用の効率性②」

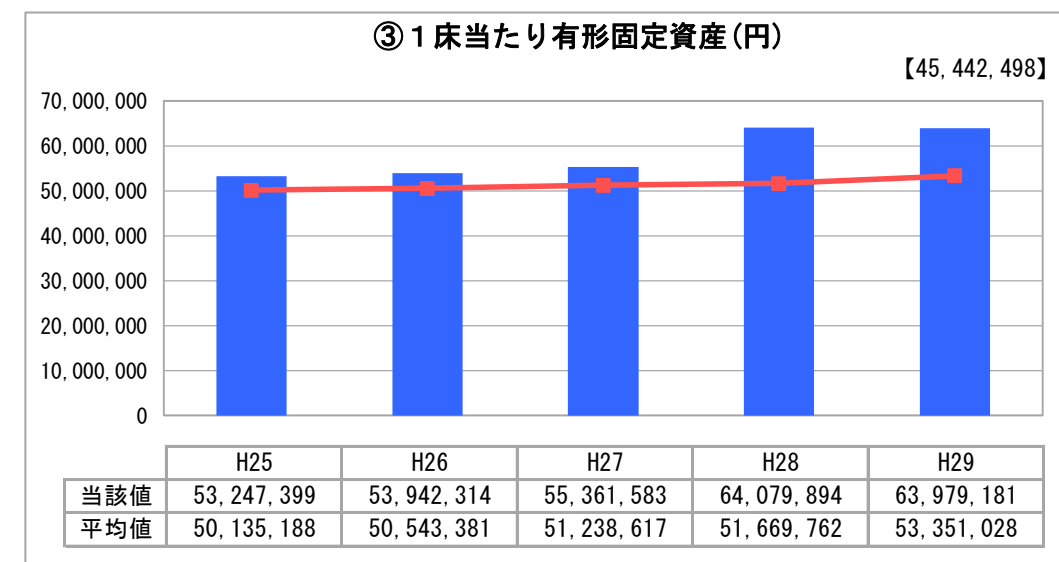
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

- ②救急・小児・周産期・災害・精神などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供
- ③県立がんセンター等地域の民間医療機関では限界のある高度・先進医療の提供
- ④研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

・経常収支比率、医業収支比率  
29年度においては、28年度に整備した先端医療棟に係る建物・機械類の減価償却が始まったことによる減価償却費の増や、抗がん剤を始めとする高額薬品・高額材料の使用増に伴う材料費の増等により、医業費用が増加し、医業収支比率は100%を下回ったが、政策医療に係る一般会計からの繰出金を加えた経常収支比率では100%を上回っている。

・病床利用率  
入院患者実人数が増加したことに加え、平均在院日数も伸びたことから上昇した。

・入院患者1人1日当たり収益  
平均在院日数が伸びたことにより減少した。

・外来患者1人1日当たり収益  
診療単価の高い外来化学療法患者の増により増加した。

### 2. 老朽化の状況について

・有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率  
29年度においては、28年度に整備した先端医療棟に係る建物・機械類の減価償却が始まったことにより増加した。

・1床当たり有形固定資産  
29年度においては、減価償却費の増加額が有形固定資産の新規購入額を上回ったため、減少した。

## 全体総括

経営の状況はおおむね良好である。病院施設・設備の整備に伴う減価償却費や、高額薬品・材料の使用による材料費等、費用の負担が今後も続くことから、先端医療棟をはじめとする施設を有効活用し、高度・専門的な医療を推進していくとともに、さらなる経営の健全化に努めていく必要がある。

このような状況を踏まえて、H28年度に策定した新公立病院改革プラン(第4次中期経営計画)に基づき、経営基盤強化と財務マネジメントの向上を図っていく。

※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。